

令和5年度えひめパラスポ記録会の競技中に 介助に当たる皆様へ



～必ずお読みください～

大会事務局

「令和5年度えひめパラスポ記録会」は、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、例年、開催しております「愛媛県障がい者スポーツ大会」と開催方法が異なります。

このため、選手にスポーツを楽しんでいただくことはもちろんですが、一方で、公正かつ安全な競技運営への協力及び感染対策の遵守が求められます。

競技場内で介助にあたる方は、事前に申請し、以下のことを十分に認識した上で、介助にあたってください。

注意事項

- 1 競技場内に入るには、専用のビブス（ベスト）等が必要です。
(陸上競技の伴走の許可は、別途申請が必要です。御注意ください。)
 - 2 競技場内では、競技役員の指示に従ってください。(各競技団体)
 - 3 競技場内で、介助者による技術指導や助言、応援の言葉掛け等は、原則禁止されています。
(★ただし、「スタートラインに行きましょう」など、競技の準備や待機などを促す指示、距離や種目の確認、視覚障がい者に対する方向や位置等の指示等については、認められています。
不明な点については、当日、競技役員等にお尋ねください。)
 - 4 実施要綱「18 その他(3) 感染症感染防止対策」を参考に感染対策を遵守してください。
 - ① 選手・支援者は記録会10日前から検温を行い、HPに掲載している体調確認表に記入し、当日に提出すること。体調確認チェック表の提出がない者及び発熱やせき等の症状がある者、10日以内に感染拡大地域に移動した者については競技場への入場は原則認めないこととする。
 - ② 当日の体温が37.5度以上の者、咳・鼻水等の症状が見られる者は来場を見合わせる。
 - ③ 慢性疾患等で、競技参加による病状悪化を招く恐れがある場合は、出場を見合わせる。
 - ④ 手洗いや手指消毒等の基本的感染防止対策を実施し、大きな声での会話や応援、ハイタッチ等の感染リスクのある行動は控える。
 - ⑤ 競技中やウォーミングアップ中を除いてマスクを着用すること。なお、他人との距離が2m以上離れている場合や息苦しい場合については、適宜、マスクを外しても良い。その際、大声で会話しないこと。
 - ⑥ 選手・引率者等(記録会会場に来場した者)は記録会后2週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染した場合は、主催者(愛媛県障がい者スポーツ協会)に対して速やかに報告すること。また、その後の感染拡大防止のため、連絡先等の情報提供をすること。なお、それらの情報は当該保健所に情報提供することもある。
 - ⑦ その他、競技団体が講じる感染防止対策を遵守すること。
- ※1～4の事項に違反した場合、選手を失格、または介助者を退場とする場合があります。
- 5 介助者は、競技にふさわしい服装(ジャージ)で介助するようにしてください。
 - 6 競技場から出るときには、ビブス(ベスト)等を必ず返却してください。

困った介助・介助者の例

- 競技場内で撮影をする介助者
- ハイヒール、革靴等を履いての介助
- 競技中に、競技役員(特に審判員)の業務を妨げる介助
- 競技中のエリアを横切る等の危険な介助
- 感染防止対策を無視した介助
- ビブス(ベスト)等を返さないで持っていつってしまう介助者

